

ガバナー



Governor's Monthly Communication

Rotary



人類に
奉仕する
ロータリー

国際ロータリー 第2630地区

2016-2017年度 ガバナー 剣田 廣喜

ガバナー事務所

〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合 本町サテライト出張所3階

TEL 0577-33-2630 FAX 0577-33-2635 URL <http://www.rid2630.org/> E-mail 1617@rid2630.org



Contents

- 剣田DGメッセージ
 - ・ロータリーブランド
- 文庫通信
- 「青少年交換特別月間」によせて
- What's Rotary
- 2016-17年度 ガバナー補佐挨拶
- 2016-17年度 委員会委員長挨拶
- グローバル補助金申請失敗顛末
- 青少年交換レポート
- 国際ロータリー 第2630地区 出席報告
- 国際ロータリー 第2630地区 会員動静
- 米山梅吉記念館便り
- 岐阜中山道RC創立20周年記念式典

第2630地区のHPはスマートフォンでもご覧いただけます



5



ロータリーブランド

2016-17年度
RI第2630地区ガバナー

劔田 廣喜

『ロータリーモザイク』を書いたハロルド・トーマス氏は、1970年代の章の冒頭に「我々多くの者は憂慮に耐えないのであるが、ロータリーが樹立されて今日の力と安定にまで築き上げられたその基本的特質の二つが、次第に希薄に、更により希薄にされる方向に向かう傾向がある。この二つとは、会員制における職業分類の原則と、もう一つは例会への規則的出席である」[この二つの基本特質は、断じて改変を許してはならないものである。]と記しました。現今、正にハロルド・トーマスが予測していた様に、その原則が守られなくなりました。2001年の規定審議会で、01-148号議案により一業一会員制が廃止され、ロータリーの組織の「核」が崩壊致しました。2016年の規定審議会16-21号議案により、クラブ例会頻度と出席に関する規定をクラブ細則で定めることができることとなり、規則的出席は廃止となりました。

この二つの組織規定が骨抜きになった以上、クラブの自治権を持ってロータリーの方向性を示さなくてはなりません。それには、クラブのリーダーをはじめ会員全員がロータリーブランド「ロータリーとは何か」、「ロータリーとは何をする団体か」、「なぜロータリーは大切なのか」というロータリーのブランドを構築しなければなりません。

この一年間ガバナー月信において、What's Rotaryと題して皆さんのご意見、お考えを聞いて参りましたが、私が考えるロータリーとは決議23-34号の第一項に「人生の哲学」と

書き表されてあるように「人生の哲学」とは、「生きていくための拠り所とする考え方、方針」であります。なぜこのような方針が必要かということ、日常生活で暮らしているうちに、自分を見失ってしまうことが多いからであります。そうすると、「ロータリー・クラブ」は、日本のロータリーの創立者であります米山梅吉翁が「ロータリーの例会は人生の道場である」と言われたように「人生の学校」ということになります。そして「ロータリアン」は、必然的に「人生の哲学、職業奉仕を学ぶ職業人」ということになります。RI主導の人的・世界規模のプロジェクトに傾斜しようとする現在、クラブは、会員の合意形成を基にロータリーとは何かを日本のロータリーが大切にしてきた伝統に照らし合わせてロータリーのアイデンティティー(自己認識)を構築することが重要になります。

そして、国際ロータリーの理念、方針にたいしては、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーブランドを身につけ、主体性を持って行動をしていただきたいと思います。

「『ロータリーは終わりなき命の旅であり、その旅を続けることに、人生の意味を見出せるものである』と云われております。自分にとってロータリーとは何か、何故ロータリーに入り会員であるのかを、時に静かに虚心に考えてみる必要があると思います。」

(第2790地区齊藤 博 パストガバナー『ロータリー運動とは』参照)

最後に日本のロータリー初代から3代のガバナーの「ロータリーとは何か」についての名言を紹介させていただきたいと思います。

初代ガバナー 米山梅吉さん

ロータリアンの不平には3種類ある。

その一つは、飽きる一向つまらぬと言って出席しない人。これはどこの団体にもあることで致しかたない。

その二つは、ロータリーの活動が足りない、もっと社会的にも政治的にも口を出せと力瘤を入れる人。

その三は、ロータリーは何処に行くかと悲観する人である。ロータリーには見えない仕事があり、目立たないところに妙味がある。

米山さんに続いて二代目ガバナーになられた井坂孝さんは言われました。

ロータリーは着物の裏を整えて着心地を良くするような仕事をしている。身体に密着するのは表でなく、着物の裏である。ロータリーも生活に密着して住み良い世の中を作ろうとしている。最近のロータリーは表生地の良いだけが論じられることが多いようですが、もっと裏生地の良さ、仕立ての良さを評価されなければならぬと思います。

三代目ガバナーの村田省蔵さんは、

「ロータリーは銭湯の如し」着物を脱いで裸になれば身分はない。浴槽と一緒に浸って本音で語り合う。

こうしてロータリーは横並び社会であることを説かれました。”

(中井義尚(岸和田東RC)著

『心に残るロータリアンの言葉』

ロータリー文庫2004年 より引用)

文庫通信 355号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演他

◎ 「日本の出番、祖国は甦る」	青山 繁晴	D.2680地区大会記録誌	2016	1p
◎ 「世界の中の日本」	五百旗頭 真	第44回ロータリー研究会報告書	2016	9p
◎ 「日本のこころ」	松長 有慶	D.2660地区大会記録書	2015	7p
◎ 「職業奉仕の今日的課題と永続企業」	パネラー：前川洋一郎・山本 泰人 中川 雅雄	D.2580地区大会記念誌	2016	6p
◎ 「21世紀をどう生きるか」	安平 和彦	D.2670・D.2680第38回RYLA報告書	2016	15p
◎ 「現代家族の課題」	白石 大介	D.2670・D.2680第38回RYLA報告書	2016	12p
◎ 「ダウン症の娘と共に生きて」	金澤 泰子	D.2690地区大会記念誌	2017	6p
◎ 「夢に向かって」	根木 慎志	D.2750第36回インターアクト年次大会報告書	2016	7p
◎ 「若者の未来のためにできること」	養老 孟司	D.2660地区大会記録書	2015	11p
◎ 「父が見つけてくれたもの」	小林 真	奉仕のともしびを高く掲げて	2011	6p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



青少年交換特別月間によせて

青少年交換部門委員会 委員長

向井 龍三 (下呂RC)

1929年、仏ニースRCが北アフリカの国との間で始まった交換留学。その後、米国と南米間でも始まり、青少年交換事業が確立されてきました。1972年には国際ロータリーの理事会で「世界平和と理解を推進する価値ある国際活動」として正式に認証推奨され、現在では120ヶ国、毎年8500人前後が交換学生として派遣されることによって国際理解と親善を果たし、ロータリーの願いである世界平和に大きく寄与しております。

日本では1962年に10名の若者が豪州へ派遣され、両国との交流が始まりました。我が2630地区では遅れること5年、1967年に各務原RCから豪州に1名が派遣されたのが始まりで、翌年に同じ豪州から1名が来日し、岐阜RCに受け入れて頂きました。今年は当地区で青少年交換プログラムが始まって丁度50周年という、記念すべき節目の年を迎えることとなりましたが、その間、今年で来日学生886名、派遣学生907名を数えるに至っており、それは全国34地区でもトップクラスを誇っております。

30年ほど前は毎年30名前後の派遣・受入という実績でありましたが、その後、徐々に派遣を希望する学生が減少してきており、最近では4～7名というのが実情です。この原因として少子化によるリスク回避の思い、経済状況の変化等によることもあります。会員の子弟も含め、学校に在籍する子どもたちに対するPR不足が第一の要因ではないか、と委員会で反省し、今年度は岐阜県、三重県内の全高等学校にメンバーが手分けして足を運び、PRポスターを掲示して頂くことにしました。この効果は必ず次年度の応募に出てくると確信しております。

減少化のもう一つの要因として、1年間という長期に渡って海外派遣をすることによって学業に、そして進学に不利になるのでは、

と本人、そして保護者が大きな不安感を抱き、そのために応募することをためらう傾向にあったのではと推測されます。しかし、世界に羽ばたける若者の育成を目指すという国の施策も相まって、高校生時代に1年間の海外留学をして勉学に励んできたという実績が、大学入学にとっても大きな優位点となってきました。即ち、今や有名国立大学や私立大学でもAO入学制度が確立されてきており、実際、当地区の子どもたちも希望する大学に念願叶って入学しております。

さて過去数年、当地区との交流国はオーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、フランス、ノルウェー、スウェーデンといった国でしたが、スウェーデンは日本の統一旅行保険の強い押し付けに対して不快感を表し、昨年からは国全体として日本との交流を取り止めるに至りました。大変残念な結果でしたが、当委員会の努力の結果、昨年からはカナダ、そして今年度からはイタリア、そしてスイスとも交流が始まり、子どもたちの選択の幅が広がったことを嬉しく思っています。

今年に入ってアメリカオハイオ州から「短期交換留学」のオファーがあり、委員会内で検討いたしました。当地区では過去に一度も実施されてこなかったプログラムでしたが、短期の海外留学という選択肢があっても良いのでは、と今年から試験的に始めることにしました。浮かれた観光気分だけで来て、ロータリーの青少年交換プログラム本来の目的から逸脱しないかという危惧もありますが、海外に興味を持ち、長期交換を目指す機運を持ってくれたらよいのではと期待も込めるところです。

ロータリアンの皆様には、今後ともこの青少年交換プログラムという素晴らしい事業に、ご理解とご協力をお願いする次第です。

What's Rotary



「ロータリーの理念はどこへ行く」

RI第2630地区ガバナーノミネー

木村 静之（岐阜加納RC）

2016年の規定審議会において、会員身分と例会の柔軟性に関し大きな改正がなされ、従来の日本のロータリアンの「常識を覆す」事態となっています。Rotary Leader 2017年3月号には、次のような事例が紹介されています。

*

シンガポール・イーストRCは、通常の例会の代わりに、奉仕プロジェクトと親睦を中心としたカジュアルな例会を月2回開催することにしました。ローターアクターと会員の家族が参加しやすくなり、一方、若い会員の会費を低く抑えることができました。

米国ワシントンDCのキャピトルヒルRCは2つの会員の種類を新設し、35歳以下の若い職業人は会費を半額に、配偶者・パートナーは会費を3分の1にしました。これにより6カ月で会員数を倍増させました。

オーストラリアのメルボルンRCには、法人会員として6企業の17人がおり、例会に交代で出席します。法人会員は、企業に勤める忙しい人に、例会の出席要件を緩和し、クラブの活動に参加する機会を与えます。

*

このようにRIは柔軟性を取り入れましたが、他方で、当2630地区の方針は「日本伝統のロータリー文化を堅持する」です。2016年地区大会で決議されました。日本のロータリーは、職業人の集まりというその成り立ちから、伝統的に職業倫理を大切にしてきました。日本のロータリーは世界のロータリーから孤立し、取り残されていくのでしょうか。世界のロータリーは120万人の会員を擁する大きなネットワークです。「RIの方向性に背を向けて日本独自の孤立路線を歩むのか、それとも世界的ネットワークの重要な一員として理念と活動の両面でリーダーシップを発揮できるようになるのか、大きな岐路にある。」(ロータリーの友1月号、本田博己PG)という問題です。

ロータリーは100年の歴史を重ね、世界の200の国と地域に約3万5,000のクラブが存在します。統一したルールで管理することに限界が生じてきました。それぞれのお国柄によって柔軟な運営がなされるとともに、各クラブがそれぞれのビジョンでそれぞれの特徴を生かした運営をすることとなります。

私は、職業奉仕の理念を中核と考え、職業倫理を重んじ、例会を人づくりの場として大切にする日本のロータリーの伝統を守りたいと思います。しかしそれだけではなく、奉仕のバランスをとり、人道奉仕の推進も大切にしたい。人道奉仕の成果があってこそ、ロータリーの公共イメージが高まります。それにより新しいロータリアンの仲間が増え、人づくりの輪が広がると思うのです。

What's Rotaryコーナーへのみなさまのご投稿をお待ちしております。



「日本ロータリー原点回帰」

桑員グループガバナー補佐
小笠原 まき子 (桑名北RC)

2016年度始めに地区リーダーチームの手引き書を頂きガバナー補佐研修を緊張の中で受講したことを思い出されます。劔田ガバナーの熱いメッセージを胸に役責の重さを感じながら、桑員グループ会員皆様のご協力を得てお蔭様で終了致しました。

しかし、昨年度始めには2016年規定審議会の決定事項発表があり、地区全員が驚きと不安で混乱していました。

秋の地区大会において大会決議第3号で、2016年ロータリークラブ定款改定によるクラブ細則の改訂に際して、当地区は「日本の伝統として継承するロータリー文化」を堅持します、が全員一致で採決されました。

ガバナー月信2017年新春所感は劔田ガバナーの日本ロータリーの哲学は正に原点に立ち戻りロータリーの存在意義を確認する良い機会となりました。

思い出深い一年間、本当にありがとうございました。この経験を糧に充実したロータリーライフを送りたいと思います。



一年間のロータリー活動を振り返って

四日市グループガバナー補佐
宮崎 由至 (四日市西RC)

昨年7月、ガバナー補佐を拝命し早や1年が経とうとしています。

四日市グループ5クラブの訪問も、次期ガバナー補佐との最後の共同訪問を残すのみとなりました。

当グループは6回の会長、幹事会が開催され、今年度、次年度との合同の最後の会議が終わったところです。

9月のIMは鈴木三重県知事の「伊勢志摩サミットのレガシー」の記念講演。5クラブの会長による職業奉仕についてのスピーチ等大変盛り上がった会となりました。

また劔田ガバナーの「もっとも出席するもの、もっとも報いられる」の方針の徹底を図る一年でもありました。

RIの規定変更等、日本のロータリー活動

の根底を揺るがしかねない一年でありましたが、ガバナーの強力なリーダーシップのもと、2630地区の結束が計れた素晴らしい一年でもありました。

幸い四日市グループでは会員の皆様の絶大なご支援、ご理解のもと大過なくAGの務めを果たすことができました。

最後に皆様のご厚情に感謝し一年の活動報告といたします。ありがとうございました。



一年間のロータリー活動を振り返って

鈴鹿・亀山グループガバナー補佐
青木 啓文 (鈴鹿シティRC)

一年間のガバナー補佐としての活動を振り返るとき、鈴鹿・亀山グループのクラブ会長・幹事を始めとする多くのロータリーアンに支えられ、貴重な経験をさせて頂き、感謝致しております。

劔田ガバナーのロータリー信条である「最も出席するもの 最も報いられる」のころをもって、積極的な取り組みを図りました。

グループ内では、ガバナー公式訪問合同例会、IM、会員増強セミナー、ポリオ撲滅募金活動、おじさん先生の講師派遣などの活動を各クラブの協力のもと実施致しました。

2016年規定審議会をおえて、国際ロータリーでは多くの課題が提起され、各クラブの特性を活かしたあり様が問われており、真摯な検討がなされております。

この一年間に、研修、会議、戦略推進セミナー、ロータリー研究会、式典などに参加させて頂き、学習や体験、経験を重ねることができ、多くの友にもめぐり遇うことが出来ました。誠に、有り難うございました。



一年間のロータリー活動を振り返って

中勢・伊賀グループガバナー補佐
中村 晶宣 (上野RC)

ガバナー補佐としてのこの1年を振り返ってみました。正確にはガバナー補佐候補となって以来の1年半を振り返ることになりました。

やや緊張気味に参加した、度重なる研修会には正直な話、ほんの少し閉口しましたが、

今考えると貴重な経験と有意義な勉強をさせていただいたと感謝しています。各クラブへの訪問の際は、思いもよらない歓待をいただき、励ましの言葉をいただいたことに、いまさらながら深く感謝をしています。

ガバナーのお膝元 高山へも何度となくお伺いする機会に恵まれました。高山での記憶は山の景色(私は高校生の頃山岳部でした)と酒とラーメンです。それだけでこの1年は過ぎてしまったといっても過言ではないと思っています。軽はずみな感想を述べていることをお許しください。それだけ高山の地はすばらしかったということです。

IMでは幹事クラブを始め、多くのロータリアンの協力のもと、楽しい時間を過ごすことができました。諸先輩にもご参加いただきました。私の人生にとって大きな自信になった行事でした。

今遣り残していることは、会員増強です。クラブによってばらつきがありますが、「道半ば」の状態です。次年度に向かって少しでも成果があがるように努めてもらいたいとおもいます。この1年間ありがとうございました。



『一年間のロータリー活動を振り返って』

松阪・東紀州グループガバナー補佐
宇野 恭生 (松阪RC)

今年度、ガバナー補佐として松阪・東紀州グループ5クラブの会長、幹事を始め会員の皆様と親しく接する機会を得られたことは、地区にも出向したことの無い私にとって大変貴重で有意義な一年でありました。そして、ロータリー活動の素晴らしさを私自身も経験出来ましたことに感謝致します。

さて、劔田ガバナーは地区の年度活動方針テーマを「最も出席するもの、最も報いられる」と提唱されました。今、RIの奉仕の方向性を理解しながら各クラブに対しロータリアンとしての人格を形成する唯一の場所が例会場であり、そこで大切なのは例会に出席することであるというガバナーの信念を伝えてまいりました。又、本年度は2016年規定審議会で採択された決議を担当する5クラブに報告、説明する役目がありました。つまり、クラブ運営に大幅な柔軟性が認められたことです。「会員資格」「例会と出席」に関する条項等

ですが、ガバナーの地区方針を理解し、順守する様お願いした事が私の大きな仕事でした。

また、IM、ガバナー公式訪問例会に尾鷲、熊野各クラブより松阪の地に多くのメンバーに出席を頂き、盛会裏に終了出来ましたことを感謝致します。一年間ありがとうございました。



ロータリー活動を振り返って

伊勢・鳥羽・志摩グループガバナー補佐
三宅 将義 (伊勢度会RC)

劔田ガバナーの方針のもと、出席・地区大会・財団・IM・増強と行動してきました。

IMには「伊勢・志摩・サミット」を主題に、三重県知事の講演、6クラブがどのようにサミットに関わったかをクラブ代表6人に話していただき、テレビでドラマ化された「高校生レストラン」の相可高校の生徒さん達に、サミット関係者に、彼らが作った弁当を再現してもらい、皆んなに食していただき大好評でした。

増強セミナーでは 他グループのパスト会長3人に、増強・退会防止・苦労話を。アイデンティティーが必要とのこと。その後、6クラブ会長に感想・今後の方針などを話していただいた。

ガバナーの最大方針の出席では、年間出席率100%を1クラブが達成できました。伊勢南50周年、伊勢度会20周年、無事式典を終えました。

一年間皆さんと話ができ、ロータリーへの熱き心を感じました。お世話になり感謝の念にたえません。



一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜Aグループガバナー補佐
田邊 雅範 (岐阜中RC)

振り返ってみれば、長いような短いような、何となくこの役職も終わりがけてきました。所属クラブからガバナー補佐に推薦され、研修が始まったのは一昨年(2015年)の10月からでした。それから今日まで、日にちが過ぎ去りました。

最初のガバナー補佐の仕事は、IMの開催

でした。岐阜Aグループは地区の先陣を切って、IMは7月開催が慣例となっています。ところが岐阜市の長良川河畔では、7月の最終土曜日と8月の最初の土曜日には大きな花火大会が行われます。IM実施会場はその花火会場の真ん前！日程が重ならないように、また会場の都合もあり、7月中旬のIM開催となってしまいました。

ガバナー補佐の業務としては、グループ内各クラブを訪問して、地区やRIに関することの伝達もあります。特に今年度は規定審議会による規則変更に伴い、クラブの定款・細則の変更をお願いするという仕事も加わりました。

こんなドタバタのガバナー補佐でしたが、暖かく見守っていただいたガバナーや地区役員の方々、さらに岐阜Aグループ各クラブの会長・幹事さまをはじめとしたメンバーの皆様方には、感謝しきりです。



一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜Bグループガバナー補佐
木村 静之（岐阜加納RC）

劔田ガバナーの要請により、任期が始まる前に7クラブを訪問し、各クラブの状況を拝見しました。それを踏まえて、新年度7月のガバナー補佐訪問で、ガバナーの考え方や地区の方針について卓話を致しました。

9月3日にガバナー公式訪問・7クラブ合同例会とIMを開催致しました。「財団100年」にちなみ、IMは「財団の地区補助金」を主たるテーマとし、地区補助金を活用した事業を中心に各クラブから発表いただきました。今後の各クラブの活動の参考となり、財団の拡充にも繋がると思います。

増強は、クラブの活力の源です。今年度は地区増強部門委員会と連携して、増強の必要性と増強の手法を学ぶため、2月25日に7クラブの「増強セミナー」を開催しました。

2016年のRI規定審議会において、「例会の回数」などクラブ運営を柔軟にする改正がなされました。そこで各クラブにおいて定款・細則をどのように改正するのか問題となりました。RIの方向は「柔軟」ですが、当地区の方針は「日本伝統のロータリー文化堅持」です。この点について、会長・幹事さんとの間で意

見交換させていただきました。



一年間のガバナー補佐として

岐阜西濃グループガバナー補佐
西脇 保彦（大垣RC）

この一年、第2630地区ガバナー補佐を拝命して、実に早い日々であったと感じました。その感想を述べたいと思います。

ロータリー活動において、RI会長ジョンFジャーム氏、第2630地区劔田ガバナーの方針の下で、岐阜西濃グループのガバナー補佐として行動しました。ガバナーの方針について岐阜西濃グループ9クラブを訪問し、理解を求め、会長、幹事、委員長とのクラブ協議会、ガバナー公式訪問を経て、IM開催致しました。

特に、我岐阜西濃グループIMでは、キャノングローバル戦略研究所の宮家邦彦様のスピーチにより世界情勢を語っていただき、この激動の世界情勢をロータリアンとして理解し、さらなる飛躍のロータリー活動に務めて頂くようにとのアドバイスを頂いたと感じたことを思い出しております。

ガバナー補佐として9RCを訪問し、やはり一番強く感じたのは多い会員数のクラブと少ないクラブの差であり、RC活動の中で、どれだけ本来のロータリー活動が出来るのか疑問視しております。

ここ数年「会員増強」のセミナーを地区の行事で開催しておりますが、このテーマを継続するばかりで良いのか、もっと違った方向、方法の工夫で会員増強、合併、新クラブ誕生にトライしなければ本当の変化は生まれないと信じて居ります。

そして、あとは若者に対するフォロー、インターアクト、ロータアクトクラブ、青少年交換委員会、米山記念奨学会、ロータリー財団の夢のフォローをし、将来のロータリアン育成にも力を入れなければと、私自身、思っております。

劔田ガバナーにガバナー補佐の任を賜りましたことに感謝し、またどれだけお役に立てたか分かりませんがお許しください。ありがとうございました。



1年間お世話に成りました

岐阜東濃グループガバナー補佐
齋木 寛治 (土岐RC)

ガバナー補佐として一年間を振り返る時、東濃8グループの会長、幹事各クラブの会員、事務局員の皆さんに支えられ、特に8クラブの会長、幹事の特別な協力により、毎月会長、幹事会を行なっており各クラブの情報、地区の情報がいち早く分かり大変感謝して居ります。今年度は地区活動方針「最も出席するもの 最も報いられる」高齢の会員、出席優秀会員の表彰受賞された会員の多くが受賞に感動して見えました。また地区大会は今までに無い企画運営で素晴らしい大会でした。特にガバナーには地区で行った研修セミナー他に殆ど出席頂き有難う御座いました。

また石垣智康パストガバナー研修委員会委員長には多くの指導、助言をいただき御礼申し上げます。各クラブ訪問も楽しく有意義な訪問と成りました。会長幹事に感謝申し上げます。

最後に3月25日26日と多治見リバーサイドクラブの国際文化交流研修に参加しました。米山奨学生ベトナム、中国と多治見西高インターアクトクラブとの1泊2日の研修で食事の準備、各グループに分かれての留学生とのアクト会員との異文化交流、有意義な研修が行われました。大きな問題もなく1年間楽しく補佐をさせて頂き有難う御座いました。

皆さんのお陰でロータリアンとして少しは成長出来れば幸いです。



「一年間のロータリー活動を振り返って」

東海北陸道グループガバナー補佐
横山 隆一郎 (各務原RC)

1年前、AGを引き受けるのは正直気が重かった。理由は色々あるが私には不向きだと思えたからだ。しかし、周囲の状況を考えれば仕方がないと思えた。

私の得意な自分流でやればいかと思ひ決意した。研修が進むにつれプレッシャーはだんだん大きくなっていった事を思い出す。私がAGになって、グループ内では何が変わったか？変わらなかったか？何が良かったか？

静かに顧みてもグループ内はほとんど変化はなかったと思える。変わったとすれば、それは私の影響力でなく、各クラブの努力の結果であろう。地区大会、IM、会員増強セミナー等々では、各クラブや会員各位にとっても協力して頂けた。感謝の念でいっぱいです。グループ内で会長幹事会を通じノミニケーションしたり、ゴルフ大会で親睦を図り和気あいあいのとても明るいグループであることに誇りを抱いております。

明るく、楽しいグループ、クラブ運営が基本と考えている私には理想的と思えます。私個人の収穫は多くの方々と知り合いになり、その人柄に触れることであった。素晴らしい人柄の方々と出会うことは、人生を豊かにする礎だと思う。これこそがロータリークラブに入会している最大のメリットかもしれない。グループ内外を問わず、お世話になった各位に感謝致しております。誠にありがとうございました。



一年間を振り返って

濃飛グループガバナー補佐
長瀬 隆 (可児RC)

前AGの体調不良により8月より2回目のAGになり残りわずかな期間となりました。

自宅から高山まで高速道路を利用し往復250kmあり名鉄、JRを利用して2時間半程度の時間が必要で小旅行の気分です。

各RCの会長、幹事さんをはじめメンバーの方に温かく受け入れていただきロータリーの友情を感じました。厚くお礼申し上げます。

各RCとも地域に密着した奉仕活動をされており素晴らしい成果が出ていると思えました。

3月末に開催した「濃飛グループ会員増強セミナー」の現、次期会長、幹事、会員増強委員長分科会では活発な意見が続出し地区委員長に「さすが12グループで一番会員増強が多い濃飛グループだ」と言っていた嬉しくなりました。新入会員分科会では本当に新入会員かと思う程の意見、発表があり将来の濃飛グループは発展間違いのないと思えました。

5月には最終訪問に伺いますが一年間お世話になりありがとうございます。心より感謝申し上げます。



「日本ロータリー原点回帰」

地区財務委員会 委員長
南条 吉雄（鈴鹿シティRC）

財務委員会の所掌は、地区会計事務規程9条で予算の承認と執行が明記されている。同第15条(臨時の監査)…ガバナーの要請により、または必要に応じ、臨時監査を実施することができるとある。これをうけ中間決算における収支についての概要を報告します。収入は期首会員数3,000人での計上であります。

会員の皆様のご協力(増強委員会の尽力)により1月1日現在3,125人となっております。半期の収入の進捗率は102.5%となっております。一方支出について、負担金は前期と変わりなく委員会事業においても予算どおり(進捗率50%)であり、事務所費においても同様であります。また、委員会主宰の研修セミナーについては独立採算を原則(委員会経費取扱規程)としており財団2回、職業奉仕1回開催されています。収支は登録料の範囲内です。適正な執行について委員長各位の地区資金へのご理解、ご協力の賜であると感謝しお礼を申し上げます。



一年間のロータリー活動を振り返って

情報部門委員会 委員長
丸尾 謙二（大垣西RC）

日本のロータリーは、デフレ経済状態と少子化等において、会員減少による増強・維持対策を実行して頂いてき、それなりに成果が出てきていると思います。しかし、ただ会員増強・維持をすることだけにエネルギーを注ぎ、しっかりとした情報の伝承・伝達がされずに、研修・教育を怠り、魅力的なロータリアンを作ることができていないことも否めない事実です。理想像としましたは、「ロータリーを学び実行する魅力的なロータリアンやその集まりであるロータリークラブを創り、魅力的な人がいるクラブだから入会したいとか継続したい」と言う「真の魅力的なロータリアンとロータリークラブ創りをして、会員増強や維持をしていこう」と言うことになれば良いと思います。

そのために、クラブ細則をしっかりと改善して、単年度制はもとより、長期の運営管理をしていくリーダーシップのある人材を育成する仕組みを作っていく方法を考えています。



「一年間のロータリー活動を振り返って」

広報・IT部門委員会 委員長
伊藤 松寿（高山西RC）

- (1)地区等の要請により出席した会合
 - ①2016年7月16日 岐阜AグループIM
 - ②2016年9月3日 岐阜BグループIM
 - ③2016年10月16日 濃飛グループIM
 - ④2016年11月27日 次期地区委員会委員長研修セミナー(資格研修)
 - ⑤2016年12月10日 ガバナーエレクト壮行会
 - ⑥2017年2月19日 地区チーム研修セミナー(資格研修)
 - ⑦2017年3月11日～12日 会長エレクト研修セミナー(PETS)
 - ⑧2017年4月16日 地区研修協議会
- (2)例会卓話への出向
 - 2016年12月6日 伊勢ロータリークラブ
 - 2017年2月20日 高山中央ロータリークラブ
- (3)委員会活動
 - ①ロータリークラブのWebサイト「My Rotary」のアカウント取得方法をパワーポイントにまとめ、クラブ訪問の折、紹介並びに普及に努めた。
 - ②米山奨学委員会と共同で作成したDVD「米山奨学生の活躍」を例会で紹介、その理解を深める努力をした
 - ③「ロータリーの友」の歴史の変遷と意義をパワーポイントにまとめた



一年間のロータリーの活動を振り返って

会員増強部門委員会 委員長
堀場 巖（岐阜南RC）

RI第2630地区の会員数は、1998年5120名を誇っていましたが、現在は3150名(月信4月号)であります。2,000名、40%減少しました。

16年間右肩下がりでしたが、石垣ガバナー年度に加茂東RCと土岐中央RCで解散、合併78クラブに、岡田ガバナー年度に不破の関RCと不破RCが合併し、77クラブになりましたが、そんな中ガバナーはじめ関係の皆様のご御奮闘により17年振りにプラスに転じ、2年連続増強となりました。今年度も次期会員増強セミナーを、田中作次RI直前会長、司葉子公共イメージ支援コーディネーターに続き、西村栄時RI第2710地区PGをお招きし、特別講演とクラブ増強成功体験発表をしていただきました。そして2017年1月より、ガバナー、ガバナー補佐のお骨折りでグループ別会員増強セミナーを関係者にお集ま

りいただき、皆様と共に活発なセミナーを展開し、4月まで実施いたしました。そして3年連続会員増強がこの難しい中実現すべく一生懸命頑張りました。

会員増強、維持、退会防止、女性会員勧誘、定年退職者勧誘を推進しながら、例会の魅力を高め、絆を深めて、出席率向上が出来て、各クラブが一層活性化し、RI第2630地区が、3年連続会員増強を達成できるかが今から待ち遠しく楽しみです。



一年を振り返って

職業奉仕部門委員会 委員長
岩田 勝美 (羽島RC)

齋田廣喜ガバナーの地区方針「最も出席するもの最も報いられる」は地区職業奉仕委員会としてももっとも参同しました。ロータリーの根幹をなす職業奉仕が軽視されつつある近年、この地区方針は例会の場で学ぶといった職業奉仕の最重要課題を言っています。米山梅吉翁の言にも有る「例会場は人生の道場」を最も具現化した方針だと思います。

RIが「人道奉仕団体」へと舵を切ろうとしている中、地区大会で「日本の伝統として継承するロータリー文化を堅持する決議」が採択され、各クラブの細則に盛り込まれるなど、記念すべき年度に委員長をさせて貰えた事とても感慨深く思っています。

一昨年6月に逝去された伊達則彦PG、現在は我が地区の宝とも言うべきロータリー哲学研究の第一人者、服部芳樹PG、二人のカウンセラーから沢山の事を教わりとても充実した3年間でした。次年度からはアドバイザーとして勉強します。今後ともご指導宜しく。



一年間のロータリー活動を振り返って

奉仕プロジェクト部門委員会 委員長
宮崎 弘夫 (鈴鹿ベイRC)

国際奉仕委員会委員長から、奉仕プロジェクト部門委員長を拝命してはじめての一年間が経過した。地区構成としても初めての「奉仕プロジェクト部門」とはどのように表現・活動して良いのか、「社会奉仕小委員会そして国際奉仕小委員会を統括する役目」と自分なりに判断するしかなかった。本年度各小委員会が篤実な姿で行う地域活動や海外支援活動は、正に「ロータリー活動の原点は奉仕に有り」と感動を与えられた。

しかし何よりも身に感じたことは、地区内各クラブが奉仕活動に対して多くの危機感・違和感を持っているように思えたことであった。会員増強・財団活動優先の国際ロータリーの指針と言うより、戦略が日本のロータリアンに不合理にも鼓吹される中、地区内ロータリアンは奉仕への意欲が見失っているのではないかと地区内各クラブへの卓話時に感じるのは私一人ではあるまいと思う。脚下照顧、唱え継がれている「四つのテスト」をロータリーの奉仕と照査してみようと思う。



奉仕プロジェクト委員会

社会奉仕小委員会 委員長
前田 敬太郎 (鳥羽RC)

環境保全をテーマにあげまして委員会を進めてまいりました。

第2630地区内の各クラブにおきましては社会奉仕活動におきまして、素晴らしい活動をしていただきましてありがとうございます。

社会奉仕小委員会としては、第2630地区内の名水を『水と衛生』テーマで取り組みました名水と言われている水を飲み水にして居る方もいらっしゃるようで、今回保健所で検査していただき飲み水に滴することを願うものです。

伊勢鳥羽志摩グループの志摩クラブさんがRIの重点テーマの『水と衛生』でバリ島のバリタマンロータリークラブと共同で国際奉仕、社会奉仕の事業を行いましたPESABAN国立第一小学校ノートパソコン・プロジェクター・スクリーン・プリンターを寄贈PESABAN国立第二小学校手洗い場を二基使用出来るようにしました。



一年間のロータリー活動を振り返って

国際奉仕小委員会 委員長
篠原 一行 (多治見リバーサイドRC)

当委員会は、地区内77の各クラブに対して、世界の恵まれない人々への支援をしようという、ロータリーの国際的奉仕活動をご理解頂き、それを積極的に実践しようとして、各クラブでの卓話や地区研修・協議会等において、お願いしました。

また地区内の各クラブが取り組んだ国際奉仕プロジェクトに、資金援助が必要な場合その申請を受け付け、企画・内容等の審査を行い、5つのクラブに支給しました。

本年度は地区のロータリー財団委員会とも連携を深めて、グローバル補助金を利用した国

際奉仕活動を、各クラブにお勧めし、委員会自らも、グローバル補助金を利用した国際奉仕活動、タイのクラブ地方への水の浄化プロジェクト事業を進めてきました。

各クラブの皆様方には、補助金有りきではなくて、地域のニーズをしっかりと調査して、こんな素晴らしい事業があるから、どうしたらできるかと、気軽に地区委員会に相談して「世界で良いことをしよう」と是非挑戦して欲しいです。宜しくお願い致します。



『一年間のロータリー活動を振り返って』

青少年奉仕部門委員会 委員長
伊藤 靖則 (四日市RC)

2010年、「青少年奉仕」はロータリー第五の奉仕部門となりました。

標準ロータリークラブ定款第6条には「青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者にとって、好ましい変化がもたされることを目的とするものである。」と記載されています。当地区においてもその目的を達成すべく「ローターアクト」「青少年育成」小委員会「青少年交換」「インターアクト」部門委員会をはじめ、各クラブ、ロータリアンの皆様が青少年の模範たるべく、多種の活動に熱心に取り組んで頂いていると思います。しかしながら「ローターアクト」についてです。「ローターアクト」とは、18～30歳の若者を対象に、奉仕を指向する指導者を育成するためにロータリークラブが提唱する団体です、当地区には、現在7つのRAのクラブがありますが、歴史あるクラブほど会員減少に悩んでいます。高校のクラブとしてすっかり定着しています「インターアクト」とは違い、RAは、維持継続がとても難しくなっています。RAを盛り上げるためには、提唱クラブだけではなく、当地区すべてのクラブ、ロータリアンのご理解とご協力が欠かせません。積極的に青少年奉仕プログラムへの参加を呼び掛けて頂きたいと思います。そして心をこめて若者たちを歓迎しましょう。



『一年間のロータリー活動を振り返って』

ローターアクト小委員会 委員長
大谷 浄治 (四日市RC)

第2630地区では2015-16年度まで9つのローターアクトクラブが活動して参りましたが、昨

年3月に名城大学ローターアクトクラブが可児キャンパスの移転に伴い閉会し、また昨年6月に名張ローターアクトクラブと多治見ローターアクトクラブが会員減少のため活動を終了しました。2016-17年度では6つのローターアクトクラブが総勢70名余りで活動を開始しました。昨年12月に岐阜南ロータリークラブの提唱で岐阜聖徳学園大学ローターアクトクラブが結成され、大学を基盤とするクラブが3つになりました。

松阪ローターアクトクラブのホストで今年3月に開催された地区研修親睦会では第3360地区(北タイ)チェンライロータリークラブの原田義之パスト会長に基調講演をお願いし、親ロータリアンと子アクターが想いをつにして親睦を深めることが出来ました。大変印象深い活動となりました。



『一年間のロータリー活動を振り返って』

青少年育成小委員会 委員長
下田 徳彦 (高山中央RC)

当委員会では、一年を通して「出前講座の普及」に取り組んで参りました。課題発掘のため、全クラブに対してアンケートを実施した結果、大きく二つの課題があることが分かりました。一つ目は「経験実績がないので不安であり、実施方法もわからない」こと、二つ目は「会員減少でクラブに余裕がなく、メンバーへの負担が大きい」ことです。これらの課題解決のため、当委員会では「出前講座実施マニュアル」を再整備し、実施方法を分かりやすくまとめました。そして、これまでの出前講座を簡単にまとめた「出前講座ダイジェスト版DVD」を現在作成中です。中々成果が見えないため、反省ばかりの一年となりましたが、対内的には地区内各クラブへの出前講座の実施支援、対外的には教育委員会との協働連携できる仕組みづくりを目指して引き続き活動して参ります。次年度も委員長を留任いたしますので、今後ともどうぞご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



1年間の事業を振り返って

青少年交換部門委員会 委員長
向井 龍三 (下呂RC)

今やロータリーの目指す世界平和の重要な一翼を担っている青少年交換プログラムですが、当地区では今年度でまさに50年という節目を迎えることになりました。

本年度の受入学生は7名、派遣候補学生は4名であり、それぞれが充実した、価値ある1年にしてもらうため、毎月オリエンテーションを開催して勉強しております。その他にも「広島方面への夏期研修旅行」、加賀修PGのお世話になる「日本文化体験作陶研修」、「4地区合同白馬交換学生スキーの集い」、「飛騨高山探索の旅」等の体験をイン・アウト交換学生全員で行動し、繋がりを深めました。

多くのROTEXを輩出しているこの事業ですが、残念ながら近年は派遣を希望する学生が少なくなってきました。この原因の一つとして、子どもたちにこのプログラムの認知が行き届いていないのでは、という反省に立ち、今年度は委員会メンバーが岐阜・三重両県下の全高校に足を運び、新しく作成したポスターの掲示を依頼してまいりました。この成果は必ず次年度以降に実ることと確信しております。



『一年間のロータリー活動を振り返って』

インターアクト部門委員会 委員長
榎原 成人 (上野RC)

まず委員会活動の中で、委員や委員以外のロータリアン・教師の方々に助けて頂いた場面が多々あり、この場をお借りして感謝申し上げます。

当地区では、多くの会員・教師・学生の方々に支えられ37校で活発にIA活動が行われています。ただ、もったいないなと感じている事があります。IAクラブは学校のクラブ活動として成立してしまい『ロータリーの存在感』が薄くなっていると感じるからです。

同じ志を持ち活動しているのに学校の枠の中で完結してはいませんか？せっかく青少年の考えや思いを知るIAという窓があるのに通り過ぎていませんか？学校に行き・会い・話し・協同事業を行えば、窓が開いた扉となり、楽しく実感を持った提唱となるのではないかと思うのですが。時間や予算など負担をお掛けしますが学生達の笑顔の為に、今後ご支援・ご協力、よろしくお願い致します。



一年間のロータリー活動を振り返って

ロータリー財団部門 委員長
辻 正敏 (津RC)

7月の地区ロータリー財団研修セミナーで始まった今年度は、ロータリー財団100周年の年でもあり今まで以上に財団が注目される一年

でした。10月の補助金管理セミナー向けに作成した資料は「この一冊があれば誰でも補助金申請が出来る」と言えるほど完成度の高いものにする事が出来ました。これはPETSや地区研修・協議会での地区内クラブからの意見や要望を資料に反映させたいと頑張った今年度地区ロータリー財団委員全員の努力の賜物と思っております。また補助金申請では地区補助金活用可能限度額を超える申請をいただき、当委員会からの補助金減額要請にお応えいただいたクラブもあります。これはクラブにご迷惑をお掛け致しましたし、委員会といたしましてとても遺憾でした。今後の対応を更に検討していかねばなりません。しかし、多くのクラブが補助金申請をされたことは財団補助金を有効に活用して地域の事業に取り組もうとされる現れだと嬉しく思っています。少しでも多くの補助金を活用するために寄付が必要となります。今後共寄付と補助金活用、そして何と言っても「世界でよいことをしよう」という財団活動をご理解いただきますようお願い申し上げます一年間の御礼とさせていただきます。



一年間のロータリー活動を振り返って

資金推進小委員会 委員長
本弘 路可 (津RC)

ロータリー財団資金推進小委員会は、ロータリー財団への理解と寄付の増進を進めていく委員会です。新補助金制度が始まって4年がたちますが、財団用語(DDFとかVTTとか)を含め、まだまだわかりにくいと言われる新補助金制度の理解と、その原資となる年次基金寄付(EREY150:1人あたり150ドル以上)の目標を達成するための活動を主に1年間させていただきました。

私自身、渡邊忠彦前ロータリー財団部門委員長、辻正敏前資金推進小委員長と地区次期委員長セミナーに出席させていただいてから地区並びにロータリー財団関係のスケジュールが膨大になり、忙しいけれども大変有意義な1年でした。

最後に、残り少ない剣田ガバナー年度ではありますが、今一度EREY150達成に向けてのご協力をお願いさせていただき、活動報告とさせていただきます。



一年間のロータリー活動を振り返って

ポリオ・プラス小委員会 委員長
杉山 克 (津北RC)

もしかして、ロータリーの歴史において最大の偉業が成し遂げられるかも知れない…そんな期待が現実味をもって我々ロータリアンに伝わって来た一年でありました。

一方、イスラム過激派やIS支配地域での紛争がポリオ撲滅活動に不安な状況を与えた年でもありました。

厳しい局面ではありますが、その為に活動の手を緩めることは決して許されることはありません。今日まで30年以上にわたり続けてきた努力が無になる危険を秘めてるからです。

そのためにも各ロータリアンにより一層の関心を持って頂くことと、ポリオ撲滅に対するロータリーの活動を広く地域の一般の人々に広報し、公共イメージの向上を計るべきだと思えました。

ポリオ撲滅の約束を全世界の人々に果たせる日を信じています。



本年度の地区補助金申請

補助金小委員会 委員長
原 正昭 (大垣中RC)

各クラブの活動を活性化するためには地区補助金の利用が欠かせないことを地区補助金小委員会のメンバー全員の認識を共に持つことから始まりました。

そのために各クラブが簡潔な申請方法の制定のために複数回の委員会を開催しました。そしてそのシステムが各クラブに理解をしていただけるよう7月の財団セミナーで説明をしました。しかしこの時点では次年度の申請についての方針すら決まっていなかったクラブへの説明はご理解を得るには時期的な要素が妨げになっていました。

そこで委員会では更なる申請方法の簡略化や具体的な説明が出来るよう委員会での検討を重ね、10月末の資金管理セミナーで各クラブが申請方法などご理解をいただけることになりました。

その結果2017年2月末には26クラブからの申請をいただきました。しかしながら補助金の総額を超えた申請金額でありました。

そこで申請予算の中で新聞やチラシなどによる事業のPR費用などは直接的な経費ではなく、

新聞記事の利用などをお願いすることで削減させていただきました。

また、このような各クラブのご協力により当初の計画通り1名の奨学生を送り出すことが出来ました。



「一年間のロータリー活動を振り返って」

米山記念奨学部門委員会 委員長
後藤 博美 (岐阜サンリバーRC)

米山記念奨学部門委員会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間最大の奨学団体です。よって4月からの奨学金支給開始にあたり、一年間を通じて各月の活動が、あります。4月には、新奨学生、世話クラブ・カウンセラー大学指導教官のオリエンテーションを開催、(4・5月分の奨学金支給)6月からは世話クラブRC例会場で、支給する。9月には、奨学生中間報告会・激励会の開催年2回のレポート提出をかねて行う、10月には次の年度奨学生の指定校選定、応募学生の受付開始、米山月間に因んで卓話依頼クラブに奨学生及び委員会委員の派遣、11月には、応募奨学生一時選考の書類のやり取り開始、面接官のオリエンテーション開催実施12月～1月の間に面接選考会を一日かけて行います。数十人応募学生の中から2630地区の採用枠(地区の寄付率で、採用枠が、決まる)当地区は、採用枠13名です。以前は18～19名の枠が有りましたが、2630地区の寄付率低下の為少なくなっています。2月には、合格者リスト作成指定校指導教官の元に合否通達されます。3月には一年間及び二年間の奨学期間終了者の奨学金支給修了式(卒業式)を開催。振り出しの4月のオリエンテーションに向けての準備となります。お願いRID2630地区全国34地区中30番目の寄付率です。次年度の寄付率目標を普通寄付金目標額¥5,000以上・特別寄付金¥10,000以上と致しました。米山記念奨学事業へのご理解と寄付金にご協力をお願い申しあげて、一年間の報告と致します。最後に地区委員長任期最後になり次期委員長にバトンを渡します。ありがとうございました。引き続き米山記念奨学会にご協力をお願い申し上げます。

グローバル補助金申請失敗の顛末

高山中央ロータリークラブ ロータリー財団委員会

2016-17年度 委員長 永井 信次

2015-16年度 委員長 今井 俊治

当クラブでは、国際ロータリーグローバル補助金を利用し、ネパールのカトマンズにおける「水と衛生」の問題解決に寄与するための人道的プロジェクトを2016年2月に立ち上げた。（申請内容は下記）

当初、グローバル補助金の申請にあたり、当クラブ委員長は、手引書を基に申請作成に取り掛かるが、手引書の表現或いは解釈が不明な箇所については、地区の担当者に何回となく相談しながら進めていった。

後に問題となる当クラブの拠出金の額についても、地区のご指導により、千ドルを計上し進めた。この申請書作成にあたり英文への翻訳については、実働部隊のNPO法人ムラのミライ様にご支援を頂いた。また、ムラのミライ様には、今回の国際奉仕事業の架け橋役としても当初より現地にて精力的に活動して頂いた経過がございます。

カトマンズのロータリークラブにも前向きに取り組んで頂き、クラブ内のグローバル担当者の選任を始め、現地実働部隊のムラのミライのメンバーのロータリークラブへの入会等のご協力を頂きましたが、その動きに至るまでには、意志疎通であったり、スピード感であったり、お国柄の違いがあり相当な時間を要した。

ともあれ、ようやく申請書は完成し、先方クラブと地区の承認も頂いたが、当地区の最終承認を頂く段階で拠出金の額についての指導が入り、拠出金の額を変更して再申請することとなった。この再申請に先方クラブの対応が突然硬化して中々承認を頂けない状況に陥り、再三再四、現地のムラのミライ様に交渉して頂いたが、最終的に時間切れとなり承認は叶わなかった。

原因は、第一に私共の不徳の致すところではありますが、今後の課題としては、成功の秘訣として、まずは先方へ直接訪問し先方クラブとのコミュニケーションを築くことが大切なポイントと思われる。

劔田ガバナーのホストクラブとして何としても実現させたい気持ちでしたが、力不足で誠に申し訳ございませんでした。私たちの失敗が次に申請される方々の糧になれば幸いです。

申請内容の概要

・プロジェクト実施地区 ネパールカトマンズ市及びゴカルナ市

・実施期間 2016.9.11～2017.5.10

・プロジェクトの概要

・支援内容…水と衛生に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援

・現状とプロジェクト内容…近年、ネパールの首都カトマンズでは、大気汚染や路上に散乱するゴミが深刻な問題となっています。この30年ほどでカトマンズの人口は42万人から147万人へと3倍以上に膨れ上がり、行政によるゴミの回収・処理が追いつかないことが原因で、回収されないゴミは路上や河川敷などに捨てられています。ゴミの9割を占めるのが分別されないまま捨てられる家庭ゴミです。河川敷に捨てられたゴミに加え、浄化槽を通らない家庭排水がそのまま河川に流れ込んでおり、バクマテイ川など市内を流れる川に深刻な影響を与えているのが現状です。

このプロジェクトでは、両国のNPO法人「ムラのミライ」と「ソムニードネパール」が協働し、ゴミ分別エコレンジャー（後述）を通じてゴミによる環境汚染の原因が、自分たちのライフスタイルにあるとこと認識してもらい、地域住民が中心となってゴミ分別・回収の仕組みをつくり上げ実践することにより、川の汚染を改善し、また、衛生的な環境保全を達成させる。結果として、病気予防と健康が保持され、地域主体の環境保全活動の実現及びカトマンズのゴミ問題の解決を促したい。

・予算内容 約40,000ドル

第30回国際ロータリー交換学生スキーの集い白馬



三輪 翼
(四日市北RC)
[アメリカ・オハイオ州へ派遣内定]

白馬スキー研修を終えて

今回のオリエンテーションはいつも以上に緊張していました。なぜかという、他の地区の人との交流するのは私にとって今回が初めてだったからです。最初名古屋駅に着いたときも、知っている人が全然いなくてとても心細かったです。今思うと、あのときに誰かに声をかけるべきだったのかなと思います。そこが私の弱い部分だと思います。周りの子供たちはけっこう積極的で、私だけおいていかれてしまうことが何回かありました。アメリカへ行けば今以上に周りの人たちは積極的だと思います。留学するまでの4か月間でもっと自分から進んで話しかけられるようになってはいけないと思いました。

1日目はプレゼンテーションとそれぞれの出し物をしました。アウトバンドの4人で愛知のプレゼンテーションを聞きに行きました。私が一番印象に残っているのは、まどかちゃんのプレゼンテーションです。彼女は日本とアメリカのハーフということもありますが、原稿を持たずに、自分の言葉でプレゼンテーションをしていました。彼女のプレゼンテーションにとっても感動しました。この経験で、彼女をはじめ、いろんな人から学ぶことができ、自分のプレゼンテーションにも全員から意見をもらえたので、次回はもっとレベルアップさせたいです。

2・3日目は、白馬スキー場に行きました。私は今までスキーは何度かしたことがあったので、今回はスノーボードに人生初挑

戦しました。最初は立つこともできなくてグループの中で一番下手だったけど、頑張って練習してターンもできるようになりました。最初はできなかったというより怖がってやろうとしませんでした。でもやってみると、だんだん転ぶのが怖くなくなってきました。この経験を人生に例えるのはおかしいかもしれないけど、何においても「やってみる」というのはとても大事なことだと思いました。やらなきゃなんにも始まらないということを改めて実感しました。でもこれは自分ひとりのできるようになったわけではなく、スノーボードの先生や、白馬高生の子が教えてくれたからなので、そういう感謝の気持ちも大切にしたいなと思いました。

今回のオリエンテーションで一番感じたのは、感謝の気持ちです。

まず、白馬高校の皆さんには、スノーボードを教えてもらったり、2日目のパーティーの準備や当日の進行など全てしてもらったり、白馬高校の皆さんのお蔭で、とても楽しい時間を過ごすことができました。仲良くなれて本当にうれしかったです。ありがとうございました。

そして、ロータリーの皆さん。今回も素敵なオリエンテーションを開いていただき本当にありがとうございました。いつも忙しいのに、私たちのためにいろいろと準備をしてくださってとても感謝しています。他の地区の人との交流やローテックスの人から聞いた話は本当にいい経験になりました。この経験を活かしてこれからも頑張ります。そしてなにより、この3日間とても楽しかったです。新しい友達もたくさんできました。本当にありがとうございました。



スノーボードを楽しむ三輪さん



参加者一同



ジュリエット バンドカステール
(Juliette VANDECASTEELE)
(四日市西RC)[フランス1710地区]

スキーレポート

3月27日から29日まで、他の留学生とロータリーのスキー旅行でした。

名古屋からバスに乗って、長野の白馬に行きました。バスの中で面白い話をして、いっぱい笑いました。昼ご飯は松本城に入った後、皆でソバを食べに行きました。天気がとっても良かったので綺麗な松本城の前で写真を撮りました。

白馬のホテルに5地区の留学生がいました。私はTUVAとゆいと同じ部屋でした。そして、皆それぞれの地区のグループに分かれてオリエンテーションがありました。

私は文書を忘れていたので、パワーポイントだけで発表をしました。オリエンテーションはちょっと長かったですけれども、アドバイスを貰って、いい勉強になりました。

夜ご飯は和食でした。量が多かったのが全部食べられませんでしたがとても美味しかったです。その後、皆は踊ったり歌ったりして、面白いショーがありました。私達はカ

ントリーロードと言う歌とAKB48の恋するフォーチュンクッキーを踊りました。一番面白かったのはPPAPの新しいバージョンでした。後で、知らない人と話してとっても楽しかったです。ピンバッジもいっぱい交換しました。そして、久しぶりにフランス人と話して嬉しかったです。フランス語少し下手になってびっくりしました。

28日に、起きてからとっても美味しい朝ご飯を食べました。そうして、着替えて、すぐスキーをしに行きましたが…私はスキー全くできません…スキーのブーツとっても履き心地良くなかったです。山はとっても綺麗でした。スキー出来なくて残念でした。

そして、コーチの教え方はとっても悪かったです…ので、ずっと一人で練習をしていました。結局、食堂で食べて、スキーをするの止めました。昼ご飯はカレーライスにしました。カレー大好きなので食べて嬉しかったです。

夜は、チョコレートを食べた後ビンゴをやりました。お菓子とロータリージャケットのためのピンバッジも貰いました。楽しかったです。その後、なんとかパーティーがあったけれど人が少なくて、音楽あんまり好みではなくて、ちょっとテンションが低かったのが他の留学生とアンジェルちゃんの部屋に集まってダンスの代わりに皆で面白い話をしました。

29日に、またスキーをしに行きました。今回は優しい大学生に教えて貰いました。一緒に山を谷まで下りました。とっても怖かったですけれども、少し滑れるようになりました。

3日間楽しかったです。いつもありがとうございます！
(原文のまま)



ジュリエットさん(左)と第2630地区の仲間たち



剣田ガバナーを囲んで

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2017年3月分

グループ	クラブ	出席率	例会数	期末	会員数			
					期首	月末	うち女性	増減
桑名	桑名	96.11	3	43	43	43	0	0
	桑名西	77.08	4	35	35	36	0	1
	桑名中央	76.72	4	30	31	29	2	-2
	桑名北	89.29	4	34	34	35	10	1
	グループ計(4)	84.80		142	143	143	12	0
四日市	四日市	97.78	4	96	96	94	0	-2
	四日市北	82.75	4	20	20	21	4	1
	四日市西	91.92	4	57	57	65	4	8
	四日市南	84.09	4	33	33	34	2	1
	四日市東	100.00	3	40	40	42	1	2
	グループ計(5)	91.31		246	246	256	11	10
鈴鹿・亀山	鈴鹿	81.35	5	58	58	62	10	4
	鈴鹿西	73.69	4	41	41	43	8	2
	鈴鹿ベイ	86.11	3	12	12	12	0	0
	亀山	78.63	3	16	16	15	0	-1
	鈴鹿シティ	78.13	4	64	64	64	4	0
	グループ計(5)	79.58		191	191	196	22	5
中勢・伊賀	津	87.99	5	59	59	59	0	0
	上野	97.03	4	36	36	36	0	0
	名張	90.00	3	35	35	36	0	1
	津南	95.41	4	48	48	50	1	2
	津北	86.25	4	43	43	43	4	0
	上野東	100.00	4	36	36	35	0	-1
	久居	85.90	3	32	32	28	0	-4
	名張中央	79.33	4	24	24	24	1	0
	グループ計(8)	90.24		313	313	311	6	-2
松阪・東紀州	松阪	86.30	4	71	71	72	0	1
	松阪東	83.04	3	59	59	56	12	-3
	熊野	63.33	5	33	34	35	4	1
	尾鷲	62.21	5	12	12	12	2	0
	松阪山桜	73.65	4	36	36	37	4	1
	グループ計(5)	73.71		211	212	212	22	0
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	90.64	4	60	60	60	0	0
	鳥羽	78.77	4	35	35	35	4	0
	伊勢南	93.76	3	39	39	40	0	1
	志摩	84.56	4	46	46	45	11	-1
	伊勢中央	93.37	4	49	49	48	0	-1
	伊勢度会	100.00	3	13	13	14	3	1
グループ計(6)	90.18		242	242	242	18	0	
三重県合計(33)	85.61		1,345	1,347	1,360	91	13	

■2016年3月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
三重県合計(33)	86.24	1,337	1,360	83	23
岐阜県合計(45)	82.33	1,727	1,780	52	53
地区合計(78)	83.99	3,064	3,140	135	76

(注)グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	出席率	例会数	期末	会員数			
					期首	月末	うち女性	増減
岐阜A	岐阜	87.37	5	84	86	89	1	3
	岐阜西	85.31	3	54	54	52	0	-2
	岐阜長良川	89.18	3	55	55	52	0	-3
	岐阜北	93.33	4	31	31	30	2	-1
	岐阜中	74.17	4	30	30	30	1	0
	グループ計(5)	85.87		254	256	253	4	-3
岐阜B	岐阜南	79.01	4	80	80	100	6	20
	岐阜東	78.10	3	52	52	50	1	-2
	岐阜東南	87.23	4	38	38	38	0	0
	岐阜加納	82.13	5	59	59	60	0	1
	岐阜エトス	66.25	3	16	16	17	2	1
	岐阜城	84.91	4	18	18	18	0	0
	岐阜中山道	100.00	4	10	10	10	2	0
グループ計(7)	82.52		273	273	293	11	20	
岐阜西濃	大垣	80.23	4	85	85	88	0	3
	大垣西	87.64	4	79	79	80	0	1
	本巣	82.27	4	31	31	27	0	-4
	羽島	91.45	4	28	28	28	3	0
	不破	90.18	4	37	37	36	0	-1
	大垣中	85.75	4	39	39	39	0	0
	大垣センチュリー	78.17	3	50	50	51	1	1
	岐阜淡墨	100.00	4	14	14	14	1	0
	岐阜サンリバー	92.16	3	18	18	19	4	1
	グループ計(9)	87.54		381	381	382	9	1
岐阜東濃	多治見	74.99	4	47	47	50	3	3
	中津川	91.42	5	71	71	74	2	3
	瑞浪	91.81	4	57	57	58	0	1
	恵那	81.60	4	34	34	34	0	0
	土岐	95.87	3	40	40	41	1	1
	多治見西	80.47	4	38	38	38	4	0
	中津川センター	86.52	3	43	43	47	0	4
	多治見リバーサイド	76.87	4	36	36	38	1	2
	グループ計(8)	84.94		366	366	380	11	14
東海北陸道	美濃	77.23	4	31	31	31	1	0
	各務原	59.38	4	20	20	24	0	4
	関	96.43	4	46	46	44	2	-2
	郡上八幡	97.98	4	38	38	38	0	0
	関中央	83.33	4	29	29	32	0	3
	郡上長良川	79.63	4	24	25	27	4	2
	各務原中央	62.37	4	29	29	29	2	0
	各務原かかみの	95.56	5	13	13	10	2	-3
	グループ計(8)	81.49		230	231	235	11	4
	濃飛	高山	82.12	4	39	39	41	0
下呂		78.79	3	20	20	22	0	2
高山西		87.69	5	39	39	39	0	0
美濃加茂		82.34	4	28	29	34	4	5
可児		82.75	3	27	27	29	0	2
可児茂		76.67	4	14	14	14	4	0
高山中央		83.91	3	56	56	59	4	3
グループ計(7)	82.04		223	224	238	12	14	
岐阜県合計(44)	84.10		1,727	1,731	1,781	58	50	
地区合計(77)	84.75		3,072	3,078	3,141	149	63	

会員動静報告 (敬称略)

2017年3月分

受章 入会会員

鈴鹿西RC	桑名RC	桑名北RC	四日市RC	四日市RC	四日市北RC	四日市西RC	津RC	熊野RC	志摩RC	伊勢度会RC	岐阜RC
藤田 充 県民功労者表彰	水谷宗徳 2017.3.6入会 事務所什器備品小売	倉本崇弘 2017.3.1入会 印刷業	梶間隆弘 2017.3.2入会 ターミナルデパート	石井盟晁 2017.3.30入会 液化圧縮ガス配布	桜レビスブガド 2017.3.14入会 レストランサービス業	古市剛久 2017.3.3入会 製麺配布	木崎真樹 2017.3.1入会 旅行幹旋業	庄司 幸 2017.3.1入会 司法書士	天羽雅彦 2017.3.14入会 リゾートホテル	西村由佳 2017.3.8入会 石材業	小澤義行 2017.3.31入会 倉庫

退会会員

大垣西RC	大垣西RC	多治見RC	土岐RC	美濃RC	関中央RC
近藤啓継 2017.3.7入会 自動車部品販売	松岡克己 2017.3.7入会 印刷	大島靖生 2017.3.1入会 自動車配布	加藤雅良 2017.3.6入会 薬業原料配布	那須千賀 2017.3.10入会 観光業	尾崎将之 2017.3.1入会 麻酔科医

逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

岐阜RC



川島秀雄
1965.3.5入会
2017.3.14逝去
1993-94年度会長
ポールハリスフェロー
米山功労者

所属クラブ	氏名	性別	退会年月日
四日市RC	鈴木 孝治	男	2017.3.31
四日市RC	川本 哲文	男	2017.3.31
四日市RC	山本 浩司	男	2017.3.31
四日市RC	栗田 雅彦	男	2017.3.31
津RC	松岡 敬三	男	2017.3.22
津RC	岸本 正宏	男	2017.3.29
津RC	山口 修	男	2017.3.31
津RC	神田 彦	男	2017.3.31
松阪RC	田中 伸二	男	2017.3.31
松阪東RC	六車 一生	男	2017.3.28
熊野RC	佐武 紀明	男	2017.3.31
志摩RC	小松 敦	男	2017.3.21
志摩RC	藤村 元保	男	2017.3.26
岐阜RC	大嶋 主税	男	2017.3.31
岐阜RC	梅田 賢一	男	2017.3.31
岐阜RC	吉武 敏彦	男	2017.3.31
岐阜西RC	中村 敏郎	男	2017.3.31
岐阜西RC	小久保俊之	男	2017.3.31
岐阜西RC	河端 勝之	男	2017.3.31
岐阜長良川RC	大野 貞夫	男	2017.3.31
岐阜長良川RC	磯部 元伸	男	2017.3.31
岐阜長良川RC	石神 康成	男	2017.3.31
岐阜南RC	秋葉 泰樹	男	2017.3.31
大垣セブチーRC	大脇 壽夫	男	2017.3.31
可茂RC	村瀬 守	男	2017.3.31

ちょっと一息



訳：「なまけてばかりでどうしようもない子」
「休みなんだからいいじゃない」

— 大森貴絵 作 —

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行方。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



青山学院緑岡中等学校正門と校舎

記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。



公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町土土狩346-1 TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp> Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

[開館時間] 午前10時～午後4時
[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/
整理のための休館日(5月・8月の特定日)

事業活動報告

岐阜中山道ロータリークラブ創立20周年記念式典 祝宴の報告

1997年2月11日に産声をあげた岐阜中山道ロータリークラブは2月19日に国際ロータリーに承認され、6月22日に認証状伝達式を行い、2222番目のクラブとして成立いたしました。

そして20年経過した2017年3月19日に、ホテルグランヴェール岐山において記念式典および祝宴を執り行いました。

実行委員長、会長の挨拶を経てガバナーのあたたかい御祝辞を頂戴しこのクラブの産みの親である岐阜加納ロータリークラブの特別代表である下野利昭様より御祝辞及び当クラブ設立時の紹介をしていただきました。

その後はプロジェクターを使い「クラブ20年の歩み」と題して約40分間出席者の皆様に紹介をさせて頂きました。

その後少しの休憩をはさんで祝宴に移り、ガバナー補佐の木村静之様の乾杯の後、アトラクションとして岐阜南ロータリークラブの尾崎泰博様のマジックショー、またロータリーバンドのパッチワークボーイズ(メンバー5名全員クラブの違うロータリアンで結成)による演奏などもあり大変盛り上がりしました。

祝宴の最後には「手に手つないで」でロータリー会員の絆がより深くなったと感じる事ができました。

このように創立20周年記念式典を盛大に無事執り行う事ができたのは、ロータリアン皆様方の御支援の賜物であったことを深く感謝すると共に御礼申し上げて報告にかえさせて頂きます。

実行委員長 熊田 浩



復活！安望藤園

第2回

藤まつり

3年前の雪害で藤棚が倒伏し、一時閉園となった安望藤園。

ひだしんは飛騨市と連携し、地域の皆さまの憩いの場の復活に向けた「安望藤園 再生プロジェクト」のお手伝いをさせて頂いたが、昨年、「藤まつり」の第1回目を開催することができました。

そして今年も、鮮やかな紫色に彩られた藤が満開を迎える「安望藤園」を皆さまに是非ご覧いただきたく、「藤まつり」を開催します。

ご家族お揃いで多数のご来場をお待ちしております。

5月7日

午前10時～午後3時

【雨天決行】

安望藤園にて

飛騨市古川町上気多(忠霊塔となり)

イベントのご案内

◆ちんどん屋「スージー」パフォーマンスショー

◆地元バンド演奏

◆バザー各種

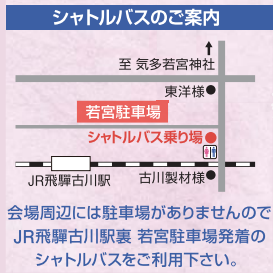
岩魚塩焼き・五平餅・とんちゃん地酒・生ビールなど

◆安望藤まつり

フォトコンテスト開催

中日フォトメイツ4名にお越しいただき撮影会を行います。

●午前11時15分～午後2時15分(予定)



主催:安望藤園藤まつり実行委員会 後援:中日新聞社
お問い合わせ:飛騨市役所観光課 ☎0577-73-2111(代)
飛騨信用組合 ブランド戦略部 ☎0577-32-4527



2016-2017年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務局 案内

各地区委員会への連絡・問い合わせ	地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30~17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーミニ ガバナー補佐・地区幹事への連絡・問い合わせ	ガバナー事務所	〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合本町サテライト出張所3F TEL 0577-33-2630 FAX 0577-33-2635 E-mail 1617@rid2630.org	執務時間 9:30~16:00 (土・日・祝日 休務)
地区大会に関する連絡・問い合わせ	地区大会事務局	〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合本町サテライト出張所3F TEL 0577-33-2630 FAX 0577-36-1488 E-mail 1617taikai@rid2630.org	執務時間 10:00~15:00 (土・日・祝日 休務)